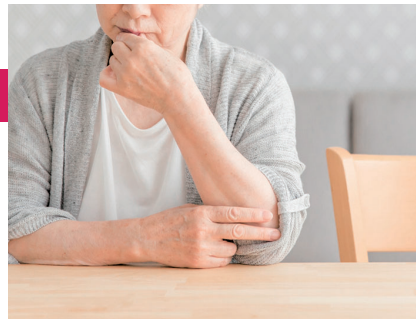


▶執筆 人権教育課 (市役所内線 4012)



老いるということ

今年もはや12月。31日には大晦日、そして1月1日には新年を迎えることとなります。今年

はどんな1年だったでしょうか。誕生日もそうですが、もうすぐやってくる正月もまた、「今年で〇歳になる…」と自分の年齢、別の言い方をすれば、自身の老いを改めて意識する時でもあるように思います。

世間では「いつもお若いですね」という言葉が褒め言葉として受けとられることが多いように、またアンチエイジング(抗老化)という言葉があるように、老いることはネガティブなこととして受け入れられているかもしれません。確かに、字が見えにくくなった、忘れっぽくなった、疲れがとれにくくなったなど、老いとともにできなくなることが増え、この延長線上に介護という問題も浮上してくるのでしょう。

しかしながら老いることは生き物として当然であり、誰もが避けることができない自然なこ

とです。にもかかわらず、老いること、何かができなくなることに對する負い目やおびえがあるとすれば、それは自分や家族ひいては社会も含めたそれを受け入れる側に問題があるのかもしれない。振り返ってみれば、私たちはいつも学校や会社から「あなたは何ができますか」と問い続けられ評価されてきたわけですが、何が出来るかではなく、自分がいること、他者がそこにいてくれること、それ自体の価値を改めて感じ取る必要があるのではないのでしょうか。

これから何かと慌ただしい年末を迎えていきますが、ふとした時間に、きちんと自身の老いに向き合い、他者に対しても自分に何をしてくれるかではなく、ただそこにいてくれるありがたさを感じ、お互いに温かい気持ちで新年を迎えられればと思います。

ふるさとの魅力再発見ーにしわき歴史探訪

萩ヶ瀬埋立地(西脇)



川下神社境内の記念碑



旧本流と現在の本流(昭和22年米軍撮影)



新川の通水が始まると旧本流は廃川となり、昭和17(1942)年に西脇区に對して旧本流の埋立が許可されました。しかし戦時下のため進まず、本格的に工事が開始されたのは昭和23(1948)年でした。3年に及ぶ埋立工事によってできた造成地は約5万3500平方メートルに達し、その大部分は宅地として売却されました。

▼問合せ 郷土資料館(☎23-5992)

市長からの手紙

ー西脇を元気に!!ー



こどもたちと一緒に「応援サポーター」として活動することを宣言

「こどもまんなか応援サポーター」として活動します! 少子化や人口減少が進む中、西脇市は妊娠前から切れ目ない支援を行う子育て応援ステーション「はぴいく」の設置や18歳までの医療費の無償化、また、「西脇市こどもの笑顔をはぐくむ条例」を施行するなど、地域社会が一体となり子育てを支援するまちづくりを目指しています。国においても、こどもを巡るさまざまな課題を解決し、大人が中心となり作ってきた社会を、こどもまんなか社会へと作り変



西脇市長 片山 象三

えていくための司令塔として、こども家庭庁が創設されました。こども家庭庁では「こどもまんなか」をスローガンに、こども・子育てにやさしい社会づくりのための意識改革を後押しする取り組みとして「こどもまんなか応援サポーター」による活動を展開しています。このたび、西脇市は国の「こどもまんなか」の趣旨に賛同し、県内で3番目の自治体となる「こどもまんなか応援サポーター」として活動することを宣言しました。このほか、今月17日には内閣府の戦略的イノベーションプログラムの一環として、「ママまんなか!健康スマイルカフェ」の公開収録を実施します。全ての人がこどもや子育て家庭を応援するやさしい社会となるよう、さらなる取り組みを進めたいと考えています。「こどもたちが健やかに育ち、笑顔があふれる西脇市」をともに創ってまいります。

みんなでまちづくりー市民の皆さんのまちづくり活動ー

「蝶」を通じて生き物や自然の魅力を伝える

市民提案型まちづくり事業採択団体の紹介

「自然探索グループ」は、西脇市と多可町の豊かな自然を探索し、ギフチョウなどの希少蝶が生息できる環境づくりと保護活動に取り組んでいます。日本へそ公園に「蝶の庭」(花壇)を造り、蝶が好む植物の栽培や保護活動を継続し、10月には蝶の観察写真展・講演会を開催。参加した多くの市民に、生き物や自然の魅力を呼び掛けました。今後は、以前生息していた地域にギフチョウを呼び戻すことと、子どもたちに豊かな自然に触れてもらい、多種多様な蝶の命をつなぐ感動体験をしてもらうことを目指して活動を続けていきます。



西脇の自然 597

ヒドリガモ

かも科



ヒドリは、オスの頭部が緋色(濃く明るい赤色)であることから、緋鳥と書きます。さらに、雄の額から頭頂部にかけてはクリーム色なのが特徴です。雌の頭部は黒褐色で、これといった特徴はありません。

カモの仲間は水中に潜って餌を捕る「海ガモ」と、水中には潜らず水面近くや地上の餌を捕る「陸ガモ」に分けられます。ヒドリガモは陸ガモで、冬季に川や池などの水辺でごく普通に見られる渡り鳥です。水草や水面の種子などを食べています。

多くのカモは夜行性です。昼近くになると、水面でゆったりと泳いだり居眠りをしたりしています。そんな休憩中のカモを驚かさないうように、じっくりと観察してみてください。

【西脇市動植物生態調査研究グループ】